

これからも元気で樂しい人生を

# 平成23年度 前美里町教育老式

式典では、米寿代表石岡順一さん（館の下）、傘寿代表菅原優子さん（浅間町）、初敬老代表加藤タキ子さん（熊の岱）へ、石岡町長より記念品が手渡されました。傘寿の方々にはステッキ、米寿と初敬老の方々、75歳以上の方々には敬老祝商品利用券（2,000円）がそれぞれ贈られました。



おそれのことば

5月10日、町民体育館において、平成23年度藤里町敬老式が挙行され、各地区から400余名余が式典に出席しました。

今年めでたく敬老式を迎えた方々は1,216名で、今年度初めて敬老を迎えた方々（昭和15年4月2日から昭和16年4月1日までに生まれた方）が56名、数えて80歳の「傘寿」（昭和7年生まれ）が53名、88歳の「米寿」（天正13年生まれ）が33名となっています。

その後、石岡町長から「敬老者の皆さんは、お仕事に励まれ自らの人生を切り開き、時には若い世代を導き家族や地域を支えながら、この町で人生の歴史を築いてこられました。今回の東日本大震災による甚大な被害は、終戦直後の荒廃と重ね合わされ思い起こしている方もおられるのではないかでしょうか。この大震災に対し、皆さんの終戦後の復旧・復興に尽くされた多難な経験を若い世代に伝え、この国難を乗り切る力として与えていただければ幸いです。「昨日より元気な今日、今日よりさらに元気な明日」のため、「今が青春」のお気持ちで楽しい人生を送られますよう、ご祈念申し上げます。」と式辞が述べられ、続いて湯澤山本福祉事務所長、藤原町議会議長両来賓からそれぞれ祝辞が送られると、敬老者を代表して安保敏昭さん（柏毛上町）からは「被災された多くの皆様に衷心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。私たちはこれからも、諸先輩が築きあげてきたこの郷土が、更に住みやすい町になる事を信じて、今まで得た様々な経験と知恵を出し合い、健康に留意しながら、藤里町発展のために尽力して参りたい」とお札の言葉

引き続き催された祝宴では藤里幼稚園の園児が、この日に向けて練習した踊りや歌を披露。会場からは大きな拍手が送られていました。

米寿該當者



いつまでもげんきでいてください



元気な笑顔がたくさん